

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
日本史B	国際交流科	3	3	詳説日本史B（山川出版社）	最新日本史図表(新版初訂)、新日本史研究ノート〔標準編〕

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の歴史と文化の展開を、各時代の国際環境や地理的条件と関連づけて、世界の中の日本という視点から、多面的・多角的に考察し、理解する力を養う。 ・わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求する態度を養った上で、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての自覚を促す。 ・わが国の歴史の基本的な事項を理解した上で、学習内容と現代の諸事件や課題との関連性を意識させ、現代及び将来の課題を多角的・客観的に考察し、公正に判断していく力を身につけさせる。 ・歴史学習における資料の重要性を理解させるため、資料を中心とした学習を行う。
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	近世	1 織豊政権	・信長・秀吉による統一の過程を理解する。 ・太閤検地の土地制度史上の意義を理解する。
			2 桃山文化	・現世肯定的で人間的要素の強い桃山文化について理解する。
	5	幕藩体制の確立	3 幕藩体制の成立	・幕藩体制の特色と、幕府の政治組織や大名・朝廷・寺社・農民などへの統制政策について理解する。
			4 幕藩体制の構造	・「鎖国」政策が社会や文化に与えた影響について理解する。 ・農業生産の発展を中心に諸産業の発達の様子と江戸時代の経済の構造を理解する。
7	幕藩体制の展開	1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	・朱子学の特徴を知り、あわせて武断政治から文治政治への転換の様子に注目する。	
		幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	・町人文化の特色と、経済発展との関連について理解する。 ・商品経済の発展や農民層の分解という幕藩体制の構造的矛盾に着目しながら、幕府・諸藩の政治改革のあり方を理解する。 ・幕政改革の矛盾と列強の接近及び蘭学・国学などの新しい学問による思想上の変革について理解する。
二	9	近代・現代	1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争	・外圧の中での日本の開国と幕藩体制崩壊の過程を、内外情勢の具体的な動きの中で理解し、その歴史的意義を考察する。 ・明治新政府が強力な中央集権体制の樹立をめざして改革を進めたことに着目し、近代日本の特色を理解する。 ・自由民権運動の推移と憲法制定にいたる経緯を理解する。 ・アジア初の立憲国家成立の意義を認識するとともに、大日本帝国憲法の限界や問題点について考察する。
			近代国家の確立	4 日露戦争と国際関係
	10	二つの大戦とアジア	5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	・近代産業の発達の諸相と日本の経済構造の特色を理解する。 ・学問の発達や教育制度に着目し、近代文化の特色を理解する。
			1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代	・第一次世界大戦の経緯とその影響を把握し、戦時期の経済発展と社会運動の高揚について理解する。 ・日本が国際社会で主要な地位に立つに至った様子を理解する。 ・協調外交の時代の諸相と政党政治について考察する。 ・東京を中心とする都市文化の特色について理解する。
12		5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	・恐慌の中での協調外交の崩壊の過程について考察する。 ・恐慌の諸相に注目し、日本経済の限界を理解する。 ・満州事変から日中戦争への過程を多面的に考察する。 ・太平洋戦争時の日本の政治・経済・軍事を多面的に分析し、戦争否定・平和愛の態度を培う。	
三	1	現代	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	・占領政策における民主化・非軍事化の内容を理解する。 ・「占領政策の転換」が生じた理由を世界史的視野に立って考察し、その後の日本の政治に与えた影響を認識する。 ・学問・言論の自由のもとで展開した文化について理解する。
			高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ
	2		1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	・現代社会の状況を把握し、日本が当面している課題を認識する。 ・世界平和の実現や南北問題、環境破壊の解決のために日本が今後何をすべきかを考える。

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
◎評価の方法 「評価の4観点」に基づいて評価、授業中の発言、小テスト、徒口物の徒口状況、定期考査の成績、口頭状況を総合して評価する。				